

No2 建築工事において、次の1. から3. の仮設物の設置計画の作成にあたり、留意・検討すべき事項を2つ、具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、設置後の保守点検等の運用管理に関する記述は除くものとする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

## 1. 外部枠組足場

答え---

- 1.交さ筋かい及び高さ15cm以上40cm以下の「さん」若しくは高さ15cm以上の幅木またはこれらと同等以上の機能を有する設備を講じる事。
- 2.手すりは、繊維ロープ等可撓性の材料でなく、丈夫な構造の設備であって、たわみが生ずるおそれがなく、かつ、著しい損傷、変形又は腐食が無い物とする。
- 3.足場つなぎは、垂直方向＝9m以下、水平方向＝8m以下とする。
- 4.足場と建物の間隔を30cm以下とする。
- 5.踏板同士の間隔は3cm以下とする。

## 2. 仮設電力設備

答え---

- 1.工事を進める上で必要な動力、照明、通信等の電力を確実に供給できるように受電設備容量を算出する。
- 2.定期的に絶縁抵抗、接地抵抗を測定し、安全を確認する。
- 3.供給する仮設配電盤を施工範囲内にて使用できない部分がないように配置する。
- 4.原則通路面に使用しない。どうしても配置しなければならない場合は絶縁被覆の損傷のおそれのない措置をする。
- 5.架空電灯等には感電防止、損傷防止用のガードを取り付ける。

## 3. 荷受け構台

答え---

- 1.建物の規模や階高、揚重材料の形状、寸法、重量などを考慮して決定する。
- 2.作業荷重は、自重と積載荷重の合計10%とする。
- 3.平面配置は、揚重機の能力・配置などの計画との関連を考慮して決定する。
- 4.足場を利用する場合、同時に2～3の構台に積載される状態を想定する。
- 5.上階からワイヤロープでつる構造とした場合、ワイヤロープの安全係数を10以上で計画する。

この過去問は受講者専用のページです。  
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。  
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>